

製品名: イブシロンチューブリン (4C4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00753**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | - |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TUBE1 |
| 別名 | FLJ22589; TUBE1; tubulin epsilon 1; ϵ tubulin |
| 遺伝子 ID | 51175 |
| SwissProt ID | Q9UJT0 |
| 免疫原 | - |

背景

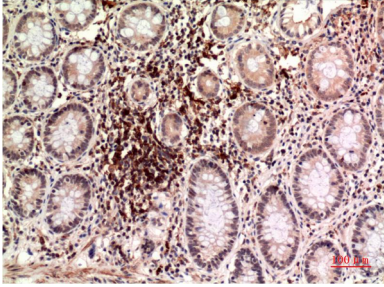
この遺伝子はチューブリンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、中心体複製後に 2つの中心小体のうち古い方の中心小体と関連する中心小体亜遠位付属器に局在します。このタンパク質は、中心小体複製中の微小管の組織化にお

いて中心的な役割を果たします。この遺伝子の偽遺伝子は5番染色体上にあります。

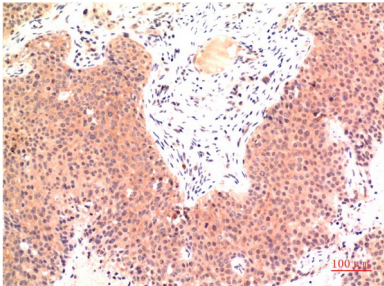
研究分野

シグナル伝達

画像データ



イプシロン チューブリン (4C4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



イプシロン チューブリン (4C4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。